

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果について

4月18日に行われました「全国学力・学習状況調査」の結果についてご報告します。6年生の保護者の方には児童を通して、個人票で結果をお知らせしています。ここでは現6年生の結果から見えてくる本校の傾向と今後の方向性などについて、ご報告いたします。

1 教科に関する調査結果

< 平均正答率 >

	市沢小		神奈川県	全国
国語	59 %	県(▼7%) 全国(▼8.2%)	66 %	67.2%
算数	53 %	県(▼10%) 全国(▼9.5%)	63 %	62.5%

学習に対する意欲や習慣は、全体として向上している様子が見られます。しかし、教科の学力については、神奈川県や全国の基準には到達していない傾向があります。今後も自己有用感を高めていくことができるように、学習の中で児童の頑張りを認め、基礎学力の拡充を図っていきます。

2 調査から見えてくる本校の課題と今後の方向性

- ・資料から情報を読み取り、適切な内容を読み取ることができている傾向が見られました。音読を通して文章の全体を把握したり、細かい部分の読み取りを行ったりして読みを深めていく学習を大切にしていきます。
- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を、文の中で正しく使うことが難しい傾向が見られました。新出漢字の学習を進めるとともに、学習した漢字について復習する機会を設けたり、日常的に読み書きするように促したりしていきます。
- ・加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりする問題が難しい傾向が見られました。加法、減法、乗法、除法といった基礎的な計算について繰り返し取り組み、計算技能の向上を図るとともに、それらを活用した問題に取り組む機会を設けていきます。